

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)福友病院	階数	地下0階地上5階
建設地	愛知県日進市北新町殿ヶ池上539-1他10筆	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	245 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2023年9月 予定	評価の実施日	2022年1月28日
敷地面積	4,321 m ²	作成者	豊三建築設計事務所 鈴木 豊三
建築面積	1,107 m ²	確認日	2022年1月28日
延床面積	5,311 m ²	確認者	豊三建築設計事務所 鈴木 豊三



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)												
<p>BEE = 1.1</p> <p>★ ★ ★ ★ ★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>★ ★ ★ ★ ★</p> <p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>184 (kg-CO₂/年・m²)</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>162</td> <td>91%</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>162</td> <td>91%</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>162</td> <td>91%</td> </tr> </table> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	①参照値	184 (kg-CO ₂ /年・m ²)	100%	②建築物の取組み	162	91%	③上記+②以外の	162	91%	④上記+	162	91%	
①参照値	184 (kg-CO ₂ /年・m ²)	100%												
②建築物の取組み	162	91%												
③上記+②以外の	162	91%												
④上記+	162	91%												

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q のスコア = 2.9</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 3.1</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 3.0</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR のスコア = 3.3</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 3.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 3.5</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 3.0</p>

3 重点項目	
<p>①地球温暖化への配慮</p> <p>3.3</p>	<p>③敷地内の緑化</p> <p>2.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>27.9 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<p>②資源の有効活用</p> <p>3.4</p>	<p>④地域材の活用</p> <p>1.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>なし</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄							全体
配慮項目	独自基準 重点項目	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
					評価点	評価点	重み係数	評価点		評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質											
Q1 室内環境											
1 音環境											
1.1 室内騒音レベル		0.1	3.0	0.15	3.0	3.0	3.0	1.00	3.0		
1.2 遮音		0.4	3.0	0.40	3.0	3.0	3.0	0.40			
1 開口部遮音性能			3.0	0.40		3.0	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能			3.0	0.60		3.0	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-		3.0	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-		3.0	3.0	0.20			
1.3 吸音			3.0	0.20		3.0	3.0	0.20			
2 温熱環境											
2.1 室温制御		0.3	2.6	0.35	2.6	2.6	2.6	1.00	2.6		
1 室温		0.5	3.0	0.50	3.0	3.0	3.0	0.50			
2 外皮性能		3.0	3.0	0.38		3.0	3.0	0.57			
3 ゾーン別制御性		3.0	3.0	0.25		3.0	3.0	0.43			
2.2 湿度制御		3.0	3.0	0.38		-	-	-			
2.3 空調方式		3.0	1.0	0.20		1.0	1.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	3.0	0.30		3.0	3.0	0.30			
3 光・視環境											
3.1 昼光利用		0.2	3.3	0.25	3.3	3.3	3.3	1.00	3.3		
1 昼光率		0.3	4.2	0.30	4.2	4.2	4.2	0.30			
2 方位別開口		3.0	5.0	0.60		5.0	5.0	0.60			
3 昼光利用設備		3.0	3.0	0.40		3.0	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		0.3	3.0	0.30	3.0	3.0	3.0	0.30			
1 昼光制御		5.0	3.0	1.00		3.0	3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	3.0	0.15		3.0	3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	3.0	0.25		3.0	3.0	0.25			
4 空気質環境											
4.1 発生源対策		0.2	3.9	0.25	3.7	3.7	3.7	1.00	3.8		
1 化学汚染物質		0.5	4.0	0.50	4.0	4.0	4.0	0.63			
4.2 換気		3.0	4.0	1.00		4.0	4.0	1.00			
1 換気量		0.3	3.0	0.30	3.3	3.3	3.3	0.38			
2 自然換気性能		3.0	3.0	0.50		3.0	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	3.0	-		4.0	4.0	0.33			
4.3 運用管理		3.0	3.0	0.50		3.0	3.0	0.33			
1 CO ₂ の監視		0.2	5.0	0.20		-	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	5.0	1.00		-	-	-			
Q2 サービス性能											
1 機能性											
1.1 機能性・使いやすさ		0.4	2.4	0.40	4.0	4.0	4.0	1.00	2.9		
1 広さ・収納性		0.4	3.0	0.40	5.0	5.0	5.0	0.60			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	-		-	-	-			
3 バリアフリー計画	独自	3.0	3.0	1.00		-	-	-			
1.2 心理性・快適性		0.3	1.0	0.30	2.5	2.5	2.5	0.40			
1 広さ感・景観(天井高)		3.0	-	-		4.0	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-		-	-	-			
3 内装計画		3.0	1.0	1.00		1.0	1.0	0.50			
1.3 維持管理		0.3	3.0	0.30		-	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	4.0	0.50		-	-	-			
2 維持管理用機能の確保			2.0	0.50		-	-	-			
2 耐用性・信頼性											
2.1 耐震・免震・制震・制振		0.3	3.1	0.31	-	-	-	-	3.1		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		0.4	3.0	0.48		-	-	-			
2 免震・制震・制振性能		3.0	3.0	0.80		-	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		0.3	3.4	0.33		-	-	-			
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.23		-	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			3.0	0.23		-	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			5.0	0.09		-	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.08		-	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			5.0	0.15		-	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.23		-	-	-			
2.4 信頼性		0.1	2.8	0.19		-	-	-			
1 空調・換気設備		3.0	3.0	0.20		-	-	-			
2 給排水・衛生設備		3.0	3.0	0.20		-	-	-			
3 電気設備		3.0	3.0	0.20		-	-	-			
4 機械・配管支持方法		3.0	3.0	0.20		-	-	-			
5 通信・情報設備		3.0	2.0	0.20		-	-	-			

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

(仮称)福友病院

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.3
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.3	0.10	
② 資源の有効活用				3.4
Q2-2	耐震性・信頼性	3.1	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.8	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:27.9%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)福友病院

計画上の配慮事項	
総合	環境に配慮した資源を使い、安全で快適に過ごせる建物を作ろうとしている。
Q1 室内環境	居室面積に対して十分な大きさの窓を設置し、積極的な昼光利用がされている。
Q2 サービス性能	建築物に対して十分な耐用年数を持つ空調・給排水配管がなされている。
Q3 室外環境(敷地内)	できる限り緑地を設けている。
LR1 エネルギー	設備システムの効率化に配慮している。
LR2 資源・マテリアル	リサイクル材を利用し、資源の有効活用に努めている。
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO2排出率=91%
その他	特になし